

# 令和5年度 西市民センター運営審議会

◆日 時 令和5年10月5日（木）15時～16時

◆場 所 西市民センター（3階）第1・2会議室

## 《 次 第 》

1. 開会

2. 館長あいさつ

3. 委員・職員紹介

4. 議事

### （1）協議・報告事項

議題1 令和4年度 市民センターの利用状況について

議題2 市民センター運営方針について

議題3 令和4年度及び令和5年度指定管理者事業について

### （2）その他

5. 閉会

《 目 次 》

1. 議題1 令和4年度 市民センターの利用状況について (P2~P3)
  
2. 議題2 市民センター運営方針について (P4)
  
3. 議題3 令和4年度及び令和5年度指定管理者事業について (P5~P19)

## 議題1 市民センターの利用状況

### ◆ 施設別利用状況

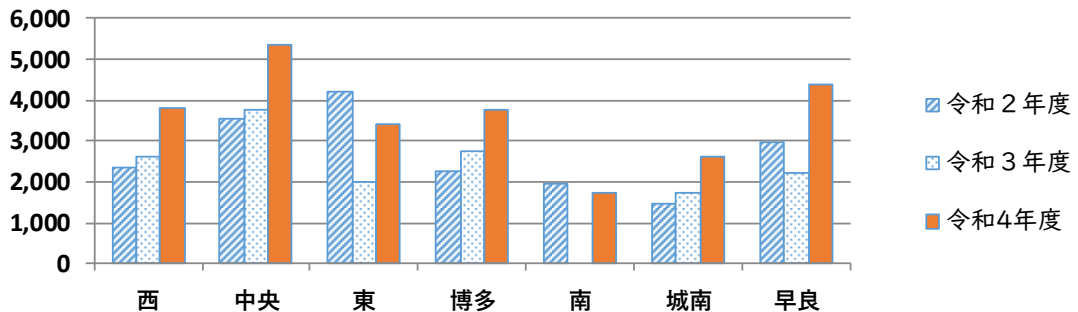
年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度	
施設	開館日数	344日		257日		302日	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数
ホ	ール	292	46,314	242	24,998	132	14,779
視	聴覚室	504	10,316	358	6,915	325	5,367
音	楽室	661	8,712	492	5,956	501	5,026
実	習室	376	5,085	236	2,940	222	2,016
第1	会議室	418	10,257	239	6,417	240	4,388
第2	会議室	405	6,373	287	4,190	276	3,077
第3	会議室	449	3,198	313	2,165	251	1,614
第1	和室	387	1,975	229	1,107	188	794
第2	和室	325	1,446	216	942	195	778
合	計	3,817	93,676	2,612	55,630	2,330	37,839

### ◆ 他市民センターとの利用状況比較

※ 東：R3年6月～10月 R4年2月～3月ワクチン接種会場となっているため利用制限あり/  
早良：R3年6月～R4年2月 ホール改修中

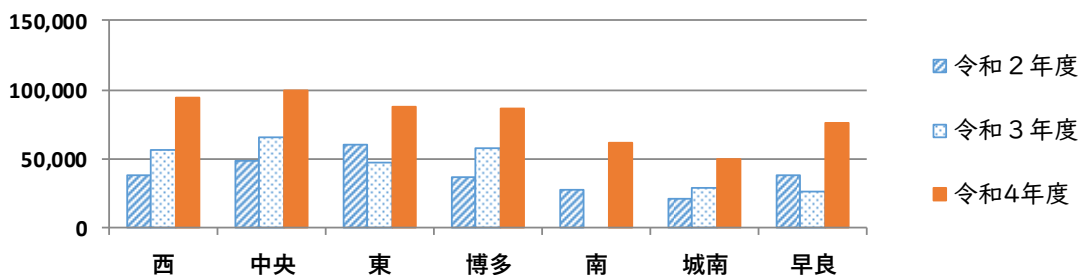
【利用件数(件)】

センター 年度	西	中央	東	博多	南	城南	早良
令和2年度	2,330	3,535	4,197	2,259	1,950	1,445	2,962
令和3年度	2,612	3,757	1,986	2,762	改修	1,745	2,205
令和4年度	3,817	5,327	3,395	3,782	1,736	2,623	4,390



【利用人数(人)】

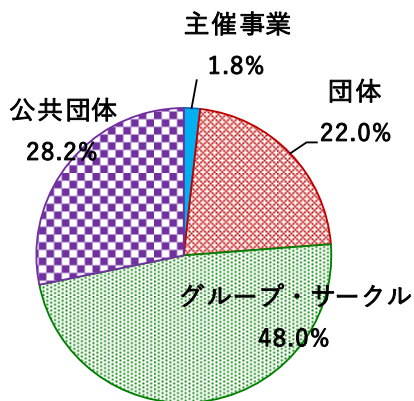
センター 年度	西	中央	東	博多	南	城南	早良
令和2年度	37,839	48,982	59,646	36,144	27,961	21,338	37,965
令和3年度	55,630	66,011	46,866	57,009	改修	28,162	25,810
令和4年度	93,676	98,962	87,046	86,690	61,620	50,331	76,215



◆ 利用区分別利用状況

利用区分	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
主催事業	68	2,170	50	1,387	54	955
団体	840	30,909	539	19,376	487	12,249
グループ・サークル	1,833	15,376	1,332	11,711	1,324	11,261
公共団体	1,076	45,221	691	23,156	465	13,374
合計	3,817	93,676	2,612	55,630	2,330	37,839

《令和4年度》

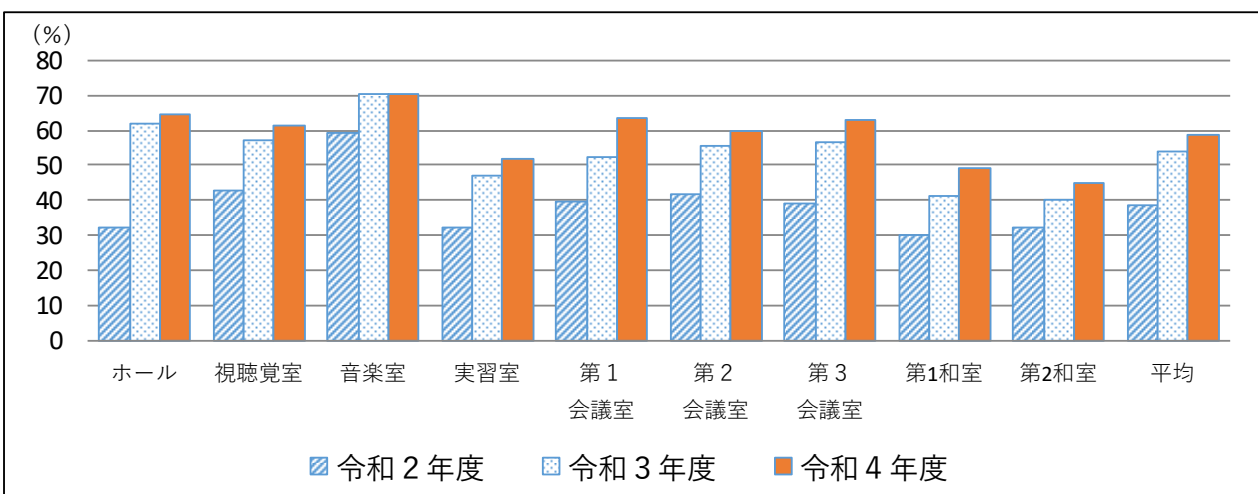


※ 利用区分

- 主催事業
  - ・市民センター主催事業
- 団体
  - ・社会教育関係団体、地域団体、企業団体、政治団体、宗教団体、法人団体、労働組合など
- グループ・サークル
  - ・演劇舞台などの趣味、華道等の生活技術グループ、同好会、愛好会などの社会教育関係グループ、または職場等のサークルなど
- 公共団体
  - ・主催事業を除く、本市の利用や国・県の利用

◆ 施設別利用率 (%)

年度	ホール	視聴覚室	音楽室	実習室	第1会議室	第2会議室	第3会議室	第1和室	第2和室	平均
令和2年度	32.1	42.7	59.2	32.0	39.6	41.7	39.0	29.8	32.0	38.7
令和3年度	62.0	57.2	70.6	47.2	52.5	55.6	56.4	41.4	40.3	53.7
令和4年度	64.4	61.4	70.5	51.9	63.4	59.7	63.2	49.2	44.8	58.7



※ 利用率：①利用回数 ÷ ②利用可能回数

① 利用回数：1日の利用区分を午前、午後、夜間の3回とし、利用の形態から利用回数を算出

② 利用可能回数：1日の利用区分(3回)×開館日数

## 議題2

### 福岡市立市民センター運営方針について

近年の少子・高齢化や国際化・情報化の進展による社会の急激な変化に伴い、さまざまな社会課題が生じており、価値観や行動の多様化も急速に進んでいます。これらに対応するためにも、学習の重要性はますます高まっています。

このような状況の中、市民一人ひとりが生涯にわたって生きがいを持ち、充実した生活を営むことができる社会の実現のためには、これまでの経験や知識を活かしながら人々がともに学び合う学習機会や、学ぶ人が学習している自覚を持ち、その成果を実感することで次の学習への意欲につながるような体験、学習成果の還元による地域コミュニティのさらなる活性化などが求められます。

これらを踏まえ、市民センターにおいては、市民一人ひとりが豊かで充実した人生を送るうえで、生涯にわたる「学び」が重要であることをしっかりと認識し、「学びの楽しさ」を実感できるよう、利用者の立場に立った生涯学習を支援する事業や、人権教育・啓発に関する事業を実施するとともに、学習機会の情報を発信するなど、今後とも市民から親しまれる施設運営に努めてまいります。

#### 1 講座、講演会、研修会等の開催に関する事業

市民が生涯にわたって行う自主的な学習活動を推進・支援するとともに、市民一人ひとりが社会の一員として、地域の中で主体的に学び、その成果をコミュニティや新たなまちづくりに活かすことができるよう、多様な機関・団体等とも連携しながら、事業の充実に取り組みます。

また、人権講座や人権の集い等の事業実施にあたっては、区においても積極的に関わりながら、しっかりと取り組みます。

#### 2 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会等の開催及びその奨励に関する事業

優れた文化芸術を身近に感じ、地域における文化・芸術の振興を図るとともに、指定管理者が持つ民間企業の知識と経験を活用し、文化芸術の奨励に繋がる企画事業を推進します。

#### 3 施設の管理運営の充実

市と指定管理者が連携を図りながら、サービスの向上に努め、利用者に親しまれる施設を目指すとともに、適切な施設の維持管理を行うなど、安心・安全な管理運営を行います。

### 議題3

#### 令和4年度 指定管理者事業

日時	令和4年4月1日（金）～3日（日） 1日 18:00～20:00、2・3日 13:00～17:00
企画名	10代のためのパフォーマンスアートワークショップ「KITEN!」春
事業概要	<p>即興パフォーマンス集団ロクディムのカタヨセヒロシさんを講師に招き、即興演劇を楽しむ3日間の連続プログラム。相手のアクションを受けてリアクションしていくやりとりを繰り返して「即興」に慣れていきました。3日目は「夜の学校」や「星空」などのテーマから、その場で思ったことを演じる即興のステージを、参加者の家族を招待して披露しました。 (参加費：3,000円：保険料込み)</p> 
成果	 <p>参加者全員が「とても良かった」「良かった」と回答し、参加者満足度の高い事業であった。また、保護者アンケートでは、人見知りで普段は大きな声で話さなかったり、消極的な子どもが、いつもは見せない表現をしていたなどの感想があり、「貴重な経験ができた」という声が多かった。アシスタントに入った地元の役者にとっても、普段は経験できない即興を学ぶ機会となった。</p> <p>参加者の声（アンケートより）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 演劇の楽しさを知った。</li> <li>・ 想像力を広められたからよかった。</li> <li>・ 「とりあえずやってみる」という精神を学んだこと。</li> <li>・ ふだんあまりかかわることのない年の人とも、話したりすることができたのがよかった。</li> <li>・ 決断力が深まった気がした。コミュニケーション力が深まった。</li> </ul> <p>参加者：12名</p>

日時	令和4年8月5日(金)～7日(日)
企画名	10代のためのパフォーマンスアートワークショップ「KITEN!」夏
事業概要	<p>万能グローブ・ガラパゴスダイナモスの川口大樹さんを講師に招き、「まぜあわせる」をキーワードに、劇をつくり、発表する3日間の連続プログラム。4つのグループに別れ、みんなのアイデアを混ぜ合わせた作品ができました。3日目は、参加者の家族を招待して自分たちで作った劇を披露しました。</p> <p>(参加費：3,000円：保険料込み)</p> 
成果	     <p>参加者の満足度が100%。また、保護者からも、「また参加させたい」「いつもと違う一面が見られた」などの良い意見がほとんどであった。また、コロナ対策のため開催時間を短縮したが、半日でも集中力を高めることで、質の高いプログラムとすることができ、今後の参考となった。</p> <p>参加者の中には複数回参加した子どもが7名おり、リピーターがつくプログラムになった。</p> <p>参加者の声（アンケートより）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 演劇などが初めてで緊張したけど、自分に自信をもてたのでよかったです。</li> <li>・ みんなと一つのもので作り上げるのが、とても楽しかった。</li> <li>・ 知らない人たちと台本を考えて、セリフを付け加えたり、行動で改善したりと、良い劇ができるようにみんなの努力している姿に感動した。</li> <li>・ いつもより声が大きく出せるようになったし、初日は恥ずかしかったけど、そんなに恥ずかしくなかったことがよかったです。</li> <li>・ 最初はちょっと怖かったけど、3日間ということで1日よりもっと学べたりできて、楽しかったです。また「ぐっち」「みずほってい」「まさきち」「ムネ」「よこやん」とワークショップやりたいです！</li> </ul> <p>参加者：24名（保護者など45名）</p>



日時	令和4年9月11日(日)～令和5年2月11日(土)
企画名	演劇で学ぼう(全6回)
事業目的	<p>演劇をつくることや上演すること自体を目的とするのではなく、演劇の手法や力を使って、日常の出来事を見直したり、違う視点を持てたり、様々な気づきや学びを得ることを目的とした演劇ワークショップ。</p> 
概要・成果	<p>○第1回：「短いセリフから演劇を考えよう」          令和4年9月11日(日) 14:00～17:00 参加者：11名          進行役：横山拓也(劇作家・演出家/iaku)          中高生を対象とした演技ワークショップを実施。参加者は11名で、長崎や山口からの参加者もいました。短い台本を使って2、3名の演技を行い、間の取り方や自然な表現について学ぶ機会となった。          参加者の満足度は高く、また参加したいとの声が多くでした。また、WS終了後に参加者から講師へ将来の進路などの質問があり、中高生にとって希望の職業の人に話を聞ける貴重で密度の濃いプログラムでした。県外からの参加者もあり、魅力的なプログラムであった。高校の演劇祭の直前であり、近隣の参加が少なかった。(参加費：無料)</p>  <p>○第2回：「老いと介護」          令和4年10月23日(日) 14:00～17:00 参加者：24名          進行役：菅原直樹(俳優・介護福祉士/「老いと演劇」OiBokkeShi)          俳優で介護福祉士の菅原直樹さんを講師に招いて、介護現場で実践されている演劇的手法の紹介や、認知症の人の言動を「演技」で自然に受け止めるワークを体験しました。          参加者は福祉の仕事に従事されている方が半数、演劇関係の方が半数で、テレビなどで菅原さんの活動を知って参加された方が多くいました。活動がマスメディアに取り上げられるような講師であり、多くの関心を集めることができた(定員に達した後も、参加したいとの連絡があり)。演劇的手法を、日常生活の中で応用した内容であり、本事業の趣旨を広く伝えることができました。(参加費：500円)</p>  <p>○第3回：「謎解きしながら街歩き」          令和4年11月3日(木・祝)～27日(日) 土日祝の計10日          10:00～17:00 参加者：84組 130名          進行役：田坂哲郎(劇作家・演出家・俳優/非・売れ線系ビーナス)          劇作家・演出家・俳優の田坂哲郎さんに、街の中にある看板や遊具、モニュメントなどからストーリーを作成して、西市民センター周辺の街を巡る「謎解き」を実施しました。参加者は謎解きキッド(クリアファイル、謎シート)を手にして、LINEを使って出てくる謎を、街を巡りながら解いていきました。</p>



謎解き(まち歩き)をしながら、「今まで入らなかったお店に立ち寄った」「いつもは通らない道を通ったり、新しい発見があった」「車でよく通るけれど、歩いたことはなかったので、楽しかった。」などの感想があり、いつもとは少し違う街の見え方が体験できた。また、謎解きを定番化して欲しいとの声も多く、ファンづくりが期待できる事業であった。(参加費：300円)



#### ○第4回：「匂わせ戯曲講座」

令和4年12月10日(土) 14:00~17:00 参加者：20名

進行役：土田英生(劇作家・演出家・俳優/MONO)

劇作家の土田英生さんを進行役に招いて、相手に押し付けずに気持ちを伝える「匂わせ戯曲講座」を開催。「LINEでメッセージを送ってなんとかあの人と会ってもらおう」「『昔は仲が良かった二人』を5行の台詞で書いてみよう」という2つのお題で、メッセージや台詞を作成した。

アンケートでは、言葉選びで印象が変わるという気づきや、うまく伝えるコツが掴めたというような感想をいただいた。「戯曲」は聞き慣れない言葉で、その分野に精通している人しか関わりにくいですが、日常的な会話やメールなど日常生活の中で使うことが伝わる講座でした。(参加費：500円)



#### ○第5回：「ママパパのための絵本読み聞かせ」

令和5年1月14日(土) 14:00~17:00 参加者：7名

進行役：中村卓二(パパで俳優)、小柳有紀(ママでタレント)

タレントの小柳有紀さんと俳優の中村卓二さんを進行役に招いて、「パパママのための読み聞かせ」を開催。ワークショップでは、イベントなどで読み聞かせをしている時に心がけている盛り上げるポイントや絵本の選び方、話し方などのお話しの後に、声を届ける実践として、輪になってコミュニケーションゲームや声の通る発声練習などを行った。

声を届けるプロとしての要素が詰め込まれたワークショップで、普段は知ることのない声を出すポイントや実演に、参加者全員が良かったと回答され、満足度の高い成果を得ることができた。参加者が少なかったが、全員が読み聞かせを実演して、進行役から丁寧なフィードバックをもらうことができ、高い満足度につながっている。(参加費：500円)




#### ○第6回：「演劇“LOVE”ワークショップ」



令和5年2月11日(土) 14:00~17:00 参加者：21名




進行役：多田淳之介(演出家/東京デスロック)

公共劇場の芸術監督から海外での共同制作まで幅広く演劇活動を展開されている多田淳之介さんを進行役に招いて、「演劇“LOVE”ワークショップ」を開催。ワークショップは、簡単なシアターゲームから始まりました。自分の体の一部を指すところから始まり、隣の人を指したり、二人を同時に指したり。ゲームを進めていくと笑いが出たり、相手と目があったりと、少しずつ緊張がほぐれていきました。多田さんのゆったりとした独特の空気感で、シアターゲームを重ねながら、自然とコミュニケ



	<p>ーションが深くなっていきました。 後半はグループになり、1分間のしりとりをして、それを忠実に再現するワークでした。誰がどんな仕草で、どんな台詞を、どんな間で話していたか、細かいところまで話し合っって思い出し、台本に起こしていきます。そして、その通りに再現してみる。1分間のやりとりが、ほぼ同じ時間で再現されていました。その再現は、演じている感じがしない、とても自然な日常の光景でした。自分の日常を演じるということも不思議な表現がありました。 (参加費：500円)</p>	
--	--	--



日時	令和4年11月5日(土)～令和5年2月4日(土)	
企画名	にしみん CINEMA「乙女心をくすぐる4つの大人の恋物語」(全4回)	
事業目的	<p>今まで西市民センターを利用していない方々にも来館する機会を創出するため、従来の映画館とは違い、途中で笑ったり隣の人と話したり、「気軽に行ける映画館」を企画し、視聴覚室でハーブティーを飲みながら鑑賞できる映画上映会を開催。</p>	
成果	<p>○第1回：「マンマ・ミーア！ヒア・ウィー・ゴー」 令和4年11月5日(土) ①10:00～12:00 ②14:00～16:00 参加者：17名 アンケートでは、「席の間隔に余裕があり、お茶を飲みながらリラックスして映画を観られること」「パイプイスは疲れるので途中休憩があったのはよかった」との声がありました。作品に対しては、様々な音楽を聞いて元気をもらえたという声が多い一方で、立体的に音を楽しめたらよかったという声も聞かれました。(参加費：500円)</p> <p>○第2回：「ブリジッド・ジョーンズの日記」 令和4年12月3日(土) ①10:00～12:00 ②14:00～16:00 参加者：19名 上映作品は自由奔放な女性の恋愛を描いたユーモアのある作品で、コミカルなシーンで笑い声が出たり、ご夫婦がお話ししながら鑑賞したり、アットホームな空気感を作ることができた。アンケートでは、「とても懐かしく、また自分の今までを振り返ることもできました。」「“乙女心”を探してみたくくなりました。」などの回答があり、若い頃を思い返す心の若返りを図ることができた。(参加費：500円)</p> <p>○第3回：「私の頭の中の消しゴム」 令和5年1月7日(土) ①10:00～12:00 ②14:00～16:00 参加者：13名</p>	  



	<p>年齢の高い参加者からは「私にとってタイムリーなお話で、考えさせられました」「観たことがあるのに涙が・・・」などの感想があり、認知症を身近に感じる世代には、自分を当事者として投影しやすい作品であり、心を動かし、若い頃を思い返す心の若返りを図ることができた。(参加費：500円)</p> <p>○第4回：「四月の雪」          令和5年2月4日(土) ①10:00~12:00 ②14:00~16:00          参加者：18名          切なくて悲しいラブストーリーに、来場者からは、「とても感動しました。」「初めて見ましたがとても良い映画でした」と、映画の内容にとっても満足されていました。(参加費：500円)</p>	 
--	--	---




日時	令和4年12月18日(日)~25(日)	
企画名	西市民センターライトミュージアム	
事業目的	<p>文化芸術の振興を目的として、質の高い芸術に触れる機会を創出しました。また、一緒に芸術作品を作る体験を通して、身近なものに感じてもらうことを目的としています。</p>	
内容	<p>全国で活躍するアーティストレインボー岡山氏を招聘し、市民と一緒に作品を作成するワークショップを開催し、作品はそのまま展示しました。また、灯明の紙袋をデザインするワークショップを行い、できた作品は正面エントランス広場に並べて、夜の幻想的な空間演出を行いました。</p> <p>① 作品制作WS「レインボー岡山 虹色大作戦」：17名          アーティスト・レインボー岡山さんと一緒に、ホール・ロビーの虹の作品を、小学生以下の親子と一緒に制作しました。虹のテープに7色の風船をつけて、地上に降りてくる7本の光の柱をイメージした作品です。完成した虹の舞台は「うごきだす絵本」の舞台装置として利用しました。(参加費：1,000円)</p> <p>② ロビー展示「ようこそ！レインボークリスマスへ」：概数1,020名          ロビー展示は2本のクリスマスツリーをイメージした作品で、雪が降り積もっている演出で灯明を配置しました。8日間で100名を超える市民の方に来ていただき、市民の方が積極的に市民センターに関わるシーンを生み出すことができました。</p>	 




	<p>③ 灯明づくりワークショップ：        令和4年12月4日（日） 参加者 40名        紙袋に切り込みを入れるオリジナル灯明を作成しました。紙袋の色に合わせて水の中や、空、夜の街など、灯明の上に多彩な世界が表現されました。参加者の多くは昨年のキャンドルナイトを見たことがなく、WSの開催によってイベントの広報にもつなげることができました。（参加費：無料）</p> <p>④ キャンドルナイト：概数 1,530名        紙袋にロウソクを入れた灯明を正面エントランス広場に並べ、夜の空間演出（クリスマスイルミネーション）を行いました。センターの前を通る多くの方が足を止め、写真を撮影する姿も多く見られ、市民の方の注目を高めました。今年は点火ボランティアが多く参加された。</p>	 
--	---	---

日時	令和4年12月17日（土）13:00～17:00、 18日（日）10:00～17:00	
企画名	うごきだす絵本「虹の彼方に」物語を踊ろう	
事業目的	<p>絵本を舞台で表現するという一連のプロセスを経験する中で、ものづくりや表現の楽しさや嬉しさを知り、芸術への興味を生み出すことを目的としています。</p>	
内容	<p>神崎由布子さん（振付家・演出家）を講師として招き、絵本「オズの魔法使い」の中に出てくる『虹の彼方に』（オーバーザレインボー）の物語を題材に、ダンスと朗読劇で舞台芸術をつくるプロセスを体験する総合プログラム。最後は、保護者を招いて朗読劇を発表しました。</p> <p>《1日目》        オリエンテーション        ダンスワークショップ        物語ワークショップ</p> <p>《2日目》        オリエンテーション        セリフワークショップ        舞台ワークショップ        リハーサル        本番（劇場で発表会）        おわりの会・記念撮影</p> <p>参加者：18名        （参加費：1,500円）</p>	 

日時	令和5年1月6日(金) 11:00~12:00、14:00~15:00	
企画名	はじめての芸術「はじめてのアフリカン●▲■ちゃん」	
事業目的	生まれて間もない子どもたちが、親とともに、本物の芸術に出会うことを通して、感性とコミュニケーション力を育むことを目的としました。	
内容	<p>3歳以下の乳幼児を持つ親子を対象とした芸術に触れるステージ。昨年度に引き続き、アーティストは「劇団 AFRICA」さん。アフリカの伝統打楽器とアフリカンダンスで構成されたパフォーマンスショー(ベビードラマ)。参加者もステージに上がり、アーティストと同じ目線で鑑賞することで、ダンスや音楽を五感で体感しました。ステージ上でも場所によって聞こえる音の強弱が異なるため、乳幼児の年齢に合わせて座る場所を指定して実施しました。(参加費:親子1組1,000円、1名追加500円)</p> <p>参加者:21組56名</p>	

日時	令和5年1月29日(日) 9:30~16:00
企画名	第2回にしみん文化祭
事業目的	<p>西市民センターで活動しているサークル市民団体、地域のみなさんの日頃の活動成果を発表する場とし、活動するみなさんの目標づくりになるとともに、市民が交流して活動が広がる機会を作りました。</p> 
内容	<p>文化祭の運営は、内浜中学校放送部生徒による司会、福岡舞鶴高校ボランティア生徒による受付・ステージのサポートなど、総勢約40名のスタッフで行いました。</p> <p>2回目の開催で、運営側と利用団体との連携がよく取れて、参加団体からも非常に喜ばれました。今年からキッチンカーやお弁当販売、お楽しみ抽選会など来場者へのサービスを充実させました。 (参加費：無料)</p> <p>&lt;ステージ会場：9団体&gt; 愛好者の合唱・楽器演奏、フォークダンスや本格的なオーケストラ演奏が繰り広げられました。</p> <p>&lt;展示会場：4団体及び内浜中学校美術部作品&gt; 書道、絵画、俳句、木目込み人形、切り絵を展示しました。</p> <p>西区体験コーナーもあり、来場者も楽しんでました。</p> <p>・来場者：358名、参加団体：150名、スタッフ：42名 計550名</p>  



日時	令和5年2月18日(土) 13:30~15:00	
企画名	避難訓練コンサート	
事業目的	公演中に火災が発生した想定で、会場のお客様にも避難訓練に参加していただくコンサートです。	
内容	<p>開演中に火災が起きた想定として、観客もスタッフも一緒になって避難するコンサートを開催。演奏は、福岡市消防音楽隊の皆さんで、日頃は救急隊・消防隊として消火活動や救急活動に従事され、休日などに演奏の練習をされているそうです。そして、消防カラーガード隊にもきていただき、華やかなコンサートが始まりました。</p> <p>演奏が始まりしばらくすると、舞台袖から白い煙がモクモクと出てきました。すると、ホール内の火災警報が鳴り、大きなベル音が響きました。訓練とはわかっているベル音を聞くとドキドキします。観客の皆さんは、職員の誘導指示に従ってロビーへ落ち着いて移動し、無事に全員が避難できました。姪浜消防署の三浦さんから、火災が発生してから避難が完了するまでの時間は3分50秒で、大きな混乱なく避難できたと講評をいただきました。</p> <p>その後は、消防音楽隊のコンサートを楽しみました。AEDの紹介や救急時の連絡先、消防クイズなど、ヒットメドレーや懐かしいアイドルメドレーなどを交えながらのコンサートで、幅広い世代が楽しめるとても楽しい時間でした。(参加費:無料)</p> <p>・参加者:163名</p>	

日時	令和5年3月4日(土) 18:30~20:30 令和5年3月5日(日) 14:30~16:30
企画名	劇団 GIGA「宝島」公演 <span style="float: right;">別紙チラシ参照</span>
事業目的	<p>演劇公演や音楽演奏会などを行う団体(劇団、音楽団)と連携し、芸術文化公演の誘致し、市民が質の高い文化芸術に触れる機会づくりを行いました。特に、地元福岡を拠点に活動する団体と連携し、地元演劇人材にもつなげる。補助金や助成金などの外部資金を活用することで、指定管理料だけでは開催できない事業実施につなげる。</p> 
内容	<p>劇団 GIGA との共催事業として寺山修司さんが美しく楽しい日本語で脚本化した「宝島」の舞台公演を開催しました。西区内の小中学校にチラシを配布して呼びかけを行い、多くの親子にご来場いただきました。小劇場や音楽演劇練習場のない西区において、舞台鑑賞できる機会は非常に少なく、アンケートでは多くの方から観劇の機会をもっと提供してほしいとの声をいただきました。</p> <p>(参加費:一般:当日 3,300 円(前売 2,800 円)、U22 割: 1,500 円、小学生以下: 1,000 円、親子ペア: 3,000 円)</p> <p>・参加者: 498 名(4 日: 197 名 5 日 301 名)</p> <p>《サブコンテンツ》小学生演劇ワークショップ -観劇前に演劇してみよう! 令和5年2月23日(木・祝) 14:00~17:00</p> <p>「宝島」の演出家の山田さんを進行役に招いて、観劇する小学生を対象に演劇ワークショップを行いました。お尻を床につけたままやる鬼ごっこやひじや膝を使ってやる「あっちむいてほい」、「だるまさんがころんだ」と言わない「だるまさん」など、普段やっているのとはちょっと違う体の使い方、体をうごかします。最後は「宝島」にちなんで、グループで一つの「海賊船」を作ります。「海賊が乗ってる!」「これ碇なんじゃない」「これは帆だ!」っと、見えるものを見て、見えないものを見て楽しみました。</p> <p>・参加者: 17 名</p>  

令和5年度 指定管理者事業



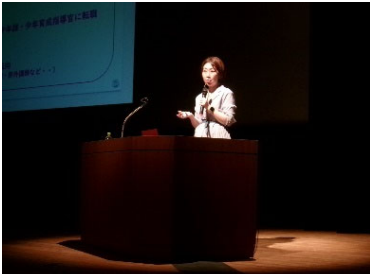
(ア)文化・芸術活動の推進（指定管理業務）

事業名	趣旨・内容	対象	摘要
10代のためのパフォーマンスアートワークショップ「KITEN!」(キテン)	<p>芸術文化に触れる機会がすくない若者層に舞台芸術ワークショップを通して、表現の面白さと芸術文化への理解と親しみを持ってもらう機会を創出します。</p> <p>地元福岡を拠点に活動する舞台芸術家によるワークショップの継続的な実施を通して地域の人材育成、文化芸術拠点としての魅力発信につなげていきます。</p>	10代	夏休み (8月)
演劇で学ぼう	<p>演劇の手法や見方を通じて、日常の出来事を見直したり、違う視点を持てたり、様々な気づきや学びを得ることを目的とした演劇ワークショップです。</p> <p>文化芸術が持っている独自のクリエイティブな視点が、日常の生活や営みに変化を与える力や新しい未来を切り開く可能性があることを提示します。</p>	市民	年4回 (4回全て10月開催)
西市民センター ライトミュージアム	<p>光をテーマにした冬のアートプログラム。昨年に続き、本物のアーティストと一緒に作品を作るワークショップを行います。</p> <p>また、灯明を作るワークショップの開催、点灯へ、より多くの市民参加を促すよう発信していきます。</p>	市民	12月
はじめての芸術	<p>芸術に触れ合う機会が少ない乳幼児やその保護者を対象にした芸術体験ワークショップの場を創出する。</p> <p>クリエイティブチームのネットワークを活かして、普段では体験できない質の高い芸術に触れる機会を創出する。</p>	0-3歳のお子さんを持つ親子	年1回 (1月)
にしみん文化祭	<p>西市民センターで活動しているサークル市民団体、地域のみなさんの日頃の活動成果を発表する場です。</p> <p>人前での発表機会を設けることで、活動するみなさんのやりがいとなることを図るとともに、市民が交流できる場となり、活動が広がる機会をつくりまします。</p>	市民	1月
舞台総合ワークショップ 「うごきだす絵本」	<p>絵本を舞台で表現するという一連のプロセスを経験する中で、ものづくりや表現の楽しさや嬉しさを知り、芸術への興味を生み出します。</p> <p>数日間の連続ワークショップを行い、最終日には保護者を招いて成果を発表します。</p>	小学生	年1回 (2月)
避難訓練コンサート	<p>公演中に火災が発生した想定で、会場のお客様にも避難訓練に参加していただくコンサートです。</p> <p>施設で作成した災害対応マニュアルの実地検証という機会を兼ねている。</p>	市民	年1回 (9月)

(イ)人権教育・啓発の推進（令和5年度は西区生涯学習推進課との共催業務）

事業名	趣旨・内容	対象	摘要
暮らしの中の人権講座	身の回りの人権問題に対する理解を深めるため、人権8課題の中からテーマを取り上げて実施し、様々な人権問題に対する知識を深め、人権を大切にする生き方や社会について考える機会とします。	PTA 成人教育委員、市民等	6月
人権を考えるつどい	西区人権尊重連絡会議、西区と共催で、区民に人権について考える機会とすることにより、人権意識の高揚を図り、差別のない明るいまちづくりを目指します。	関係団体の役員・市民	7月

令和5年度 指定管理者事業

日時	令和5年6月16日（金）14:00～15:45 令和5年6月22日（木）14:00～15:45
企画名	西区暮らしの中の人権講座（全2回） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">別紙チラシ参照</span>
事業概要	<p>人権尊重は、明るい家庭生活や住みよいまちづくりの基礎となるものである。しかしながら、私たちの暮らしの中には、様々な人権問題が存在し、幸せに生きる願いや権利が不当に踏みにじられている現実がある。この講座は、暮らしの中の様々な差別や偏見に目を向け、身のまわりの人権問題に対する理解を深め、”人権を尊重し、人の多様性を認め合うまち”の実現を目指して開催する。 （参加費：無料）</p> 
成果	<p>○第1回：「部落の歴史と私～私は差別する側だった～」 令和5年6月16日（金）14:00～15:45 参加者：103名 講師：高濱圭子（元福岡市人権啓発センター 人権啓発推進指導員）</p> <p>講師ご自身の体験や教員としての体験から、部落差別の歴史や近年の動向について知ることができ、正しい知識を得ることが差別意識をなくす上で大切であるということをお話された。参加者アンケートでは、理解度が深まったとの回答が約95%と高い結果となった。</p>  <p>○第2回：「生まれてきてくれてありがとう」 令和5年6月22日（木）14:00～15:45 参加者：103名 講師：堀井智帆（元福岡県警少年育成指導官/スクールソーシャルワーカー/スクールカウンセラー）</p> <p>ご自身も子育て中であり、体験から語られ、子どもたちの置かれている状況と、私たちにできることを教えていただき、講演のタイトルでもある”生まれてきてくれてありがとう”という言葉大切にしたいと思う内容でした。参加者アンケートでは、理解度が深まったとの回答が約93%と高い結果となった。</p> 

日時	令和5年7月27日(木) 14:00~16:00
企画名	西区人権を考えるつどい <span style="float: right;">別紙チラシ参照</span>
事業目的	西区人権尊重連絡会議・西区役所との共催で、あらゆる差別をなくすために地域における人権教育・啓発活動の充実を図る。 (参加費:無料)
内容	<p>「みんなちがって、みんないい生き方を ～金子みすゞの心とともに～」 講師：ちひろ（シンガーソングライター・ラジオパーソナリティ）</p> <p>金子みすゞさんの詩に歌を付けて歌う、ちひろさんをお迎えしてトーク&amp;コンサートを実施した。 金子みすゞの詩が元々持っているすべての事象に対する深い想いを、歌に乗せることで、さらにわかりやすく伝わっていた。歌声も素晴らしかった。また、ちひろさん自らの体験談を含め、トークもたいへん好評であった。アンケート回収 202 枚中 148 枚に感想が綴られており、そのほとんどが感謝の言葉であった。</p> <p>・参加者：244 名</p>



## (ウ)生涯学習事業の推進（令和5年度は西区生涯学習推進課との共催業務）

事業名	趣旨・内容	対象	摘要
市民生涯学習講座 （まち・ひとカレッジ NISHI）	地域づくりに関心のある人や、公民館や地域団体などで地域づくりの活動を行っている人を対象に、地域づくり活動の活性化を推進していく人材を発掘・育成する。	市民	8～10月

## (エ)施設管理運営の充実（指定管理業務）

事業名	趣旨・内容	対象	摘要
管理運営業務	市民センターを運営する上で、最も重要視すべきことは「利用者の立場に立つこと」だと考えます。そのために必要な市民ニーズを把握し、日常的なヒアリングにより多くの市民の声に耳を傾けます。 また、新型コロナウイルス感染に関しては、ウィズコロナへの対応を見直し、政府の指針などを正確に情報収集し、柔軟に対応できる運営と迅速な情報発信で、利用者の安全・安心を担保します。	利用者	通年
施設の利用促進	利用者の皆さんが望む市民センターのニーズを正確に掴み、いつでも気持ちいい笑顔での接客で運営を行うことを基本とします。高齢者やお子様連れなどの利用者には、その視点に立った「安心して利用できるサービス」を提供します。 また、質の高い事業の提供や利用者・地域で活動されている方の活動成果を発表する場を提供し、賑わいのある市民センターを目指します。	利用者	通年
広報事業	西市民センターで行われる講演や発表会、催物などの開催情報を、主催者への丁寧な連絡によって正確に把握して、館内掲示やホームページ、SNS等で広く周知を行います。 また、事業においては市政だよりやマスメディアを活用し、これまで以上に多くの方が市民センターに触れる機会を増加させ、これまで西市民センターに関心がなかった層にも新たな集客を図ります。	市民	通年
地域との連携	地域や教育機関、関係団体へ練習・発表の場としてだけでなく、ボランティア活動の場としての活動を提示して、利用創出を図ります。 また大学との連携として、学生サークルや研究室による学びの場など、学生のスキルやノウハウを生かした連携事業の開拓を図ります。	地域住民 教育機関	通年